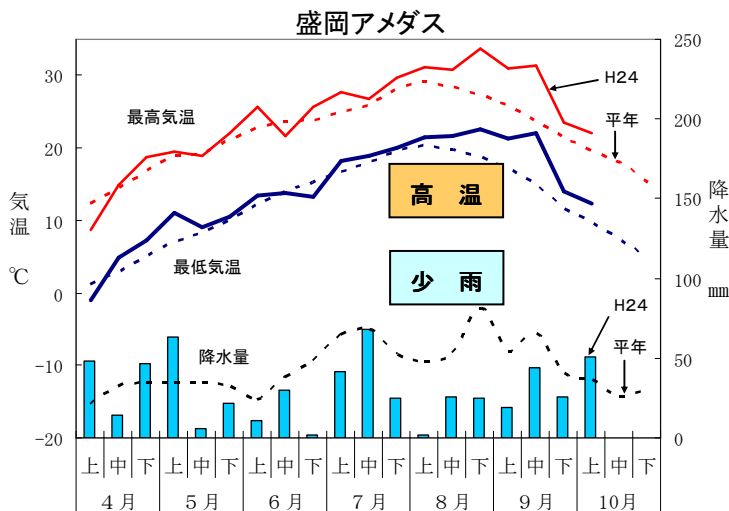


平成24年夏の高温・少雨における畑地かんがい効果事例

1 平成 24 年夏の気象概況及び、かんがい効果

(1) 平成 24 年は、6 月が少雨、7 月からは高温・少雨の天候となり、9 月中旬までその状況が続き、畑作物を中心に農作物への影響が懸念されました。

(2) このような中、かんがい施設を整備した畑地においては、かん水利用により収量・品質を確保した事例が確認されており、畑地かんがい施設が高温・少雨対策に一定の効果を発揮しました。



【月別の気象値】 (盛岡アメダス)

		6月	7月	8月	9月	6~9月
最高 気温°C	H24	24.4	28.0	31.9	28.6	28.2
	平年差	+0.9	+1.7	+3.6	+5.0	+2.8
最低 気温°C	H24	13.5	19.0	21.9	19.1	18.4
	平年差	-0.3	+0.9	+2.2	+4.5	+1.8
降水量 mm	H24	43	135	53	90	320
	平年比	39%	73%	29%	56%	50%

【H24 かんがい効果事例の概要】

(未かん水ほ場に比べ)

- ・野菜 果菜類 約1～2割 多収
- ・野菜 葉菜類 約2割以上 多収
- ・果 樹 果実肥大良好 など

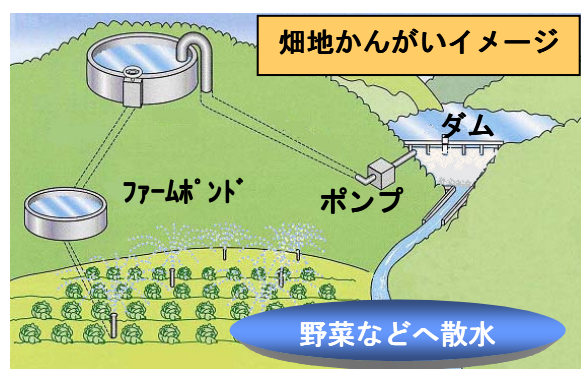
2 畑地かんがい、とは・・・

畑地かんがいは、畑作物の栽培に必要な水を、ダムなどの水源から畑地に供給することをいいます。

本県では、県北や県南部の畑地帯を中心に約 2,200ha の畑地かんがい施設が整備されています。

【畑地かんがいの効果】

- ① 作物の収量・品質の向上、安定化
 - ② 計画的な生産作業が可能
 - ③ 防除作業等の省力化
 - ④ 施設園芸など高収益作物導入が可能
 - ⑤ 生産の団地化、産地形成が可能
- など、様々な効果が期待できます。



【岩手県の畑地かんがい施設の整備状況】

	現況面積 (H23 年末)	目標面積 (H30)
畑地かんがい 面積 ha	2,213	2,500

※県内畑地は約 6 万 ha⇒施設整備率は 3.8%

3 平成 24 年 高温・少雨における畑地かんがいの効果事例

【事例調査の概要】

畑地かんがいの効果について、県内の畑地かんがい施設を整備した地区を対象に、農家への聞き取り調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

きゅうり

【かん水方法】

- ・点滴かん水チューブや散水チューブ

【効果】

- ・収量 約 6,000 kg/10a (8月末)

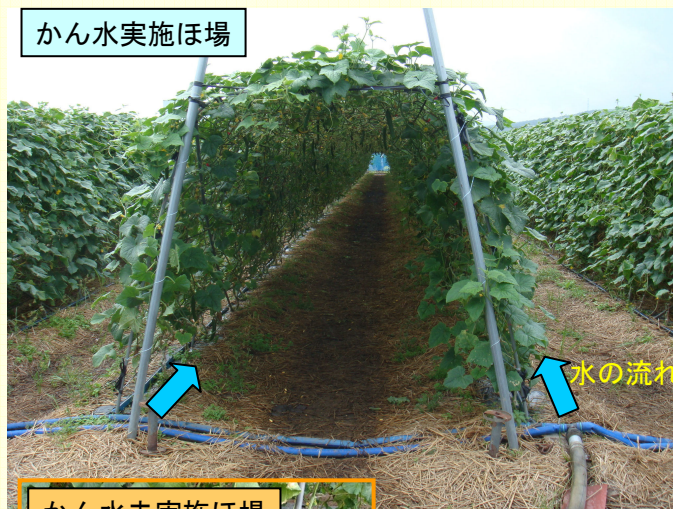
畑地帯総合整備事業

「盛岡西部地区」(矢巾町)の収量事例

未かん水ほ場比較 **約 125%**

- ・葉の枯れ上がりが少なく、草勢が維持
- ・品質良好 (不良果少ない)

(調査事例：野田村③、一関市④、盛岡市⑥、矢巾町⑥、二戸市⑩(数字はP4地区No. 以下同様))



(写真：矢巾町)



未かん水ほ場では葉の枯れ上がりが目立つ(9月上旬)
(写真：二戸市)

ピーマン

【かん水方法】

- ・点滴かん水チューブやスプリンクラー

【効果】

- ・収量 4,704 kg/10a (8月末)

畑地帯総合整備事業

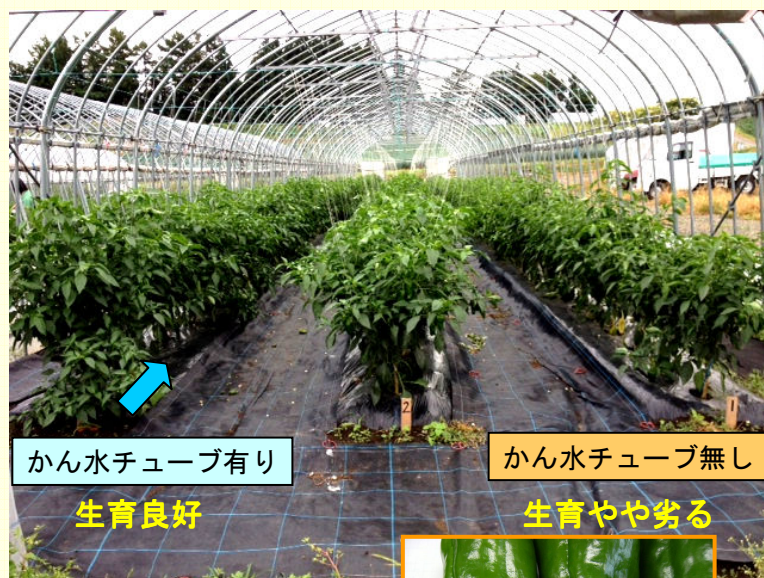
「藤崎地区」(一関市)の収量事例

JAピーマン部会平均収量比較

約 110%

- ・尻腐れ果の発生が少ない (未かん水に比べ)

(調査事例：九戸村①、岩手町②、一関市④⑮)



(写真：九戸村)

ピーマンの尻腐れ果

ほうれんそう

【かん水方法】

- ・ハウスサイドのミストチューブ等
(出芽後も追加かん水)

【効果】

- ・収量 3,200 kg/10a

県営農地開発事業

「大野地区」(洋野町)の収量事例

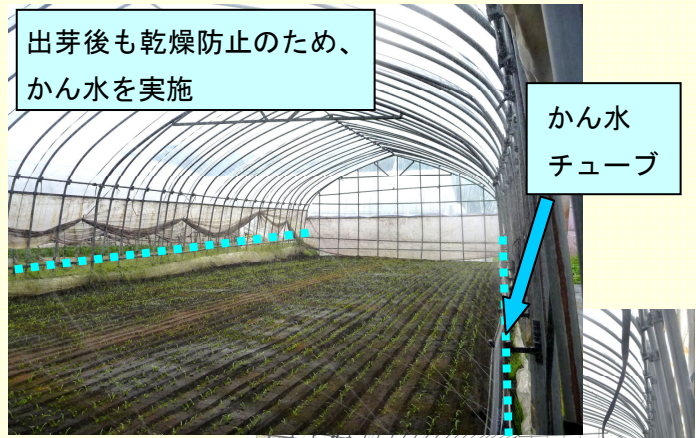
未かん水ほ場比較 **約125%**

- ・品質は例年並み

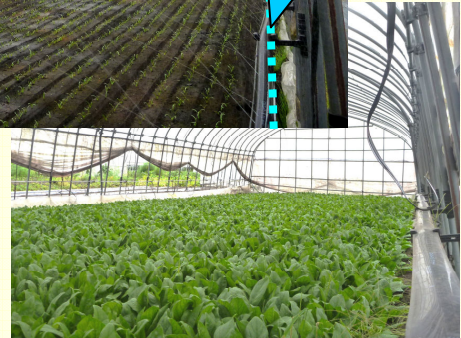
(調査事例：野田村③、洋野町⑫、普代村⑬)

出芽後も乾燥防止のため、
かん水を実施

かん水
チューブ



(写真：
洋野町)



りんご

【かん水方法】

- ・散水チューブやスプリンクラー

【効果】

- ・果実の肥大良好
- ・花芽の分化良好 (次年度の花芽を確保)

(調査事例：盛岡市⑥、矢巾町⑥、二戸市⑩⑪)



散水チューブ

(写真：二戸市)

【その他の事例】

キャベツ

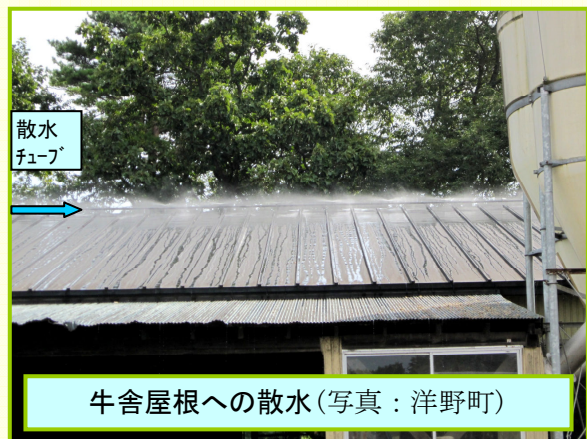
- ・生育途中にスプリンクラーで
かん水実施 ⇒ 収量確保
(調査事例：岩手町②、九戸村①)



キャベツほ場でのかん水(写真：岩手町)

乳牛

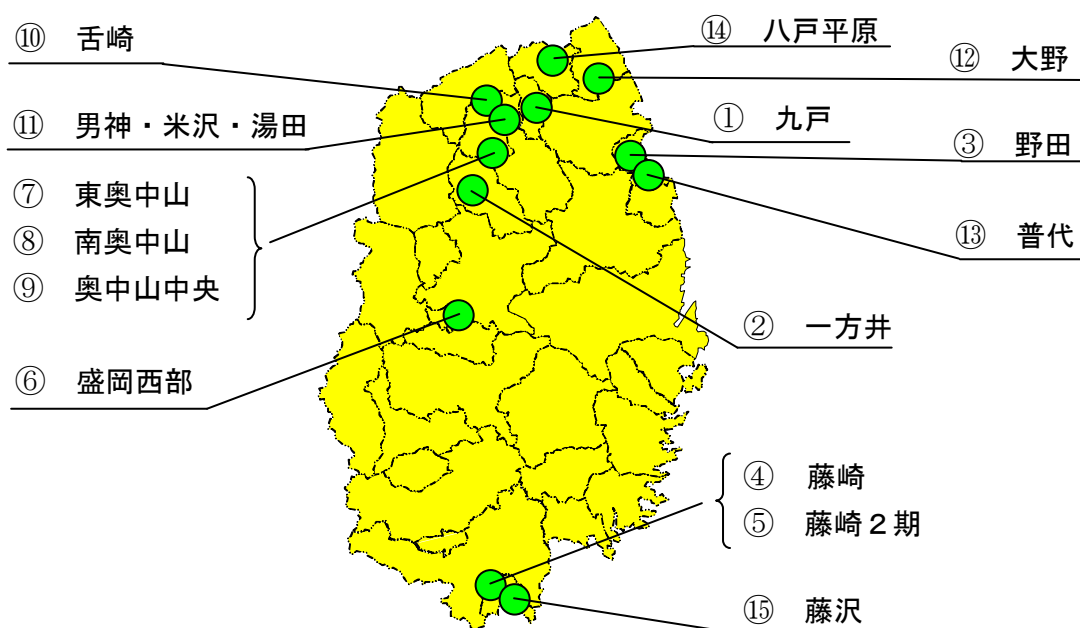
- ・畜舎屋根への散水で約2~5℃舎内の温
度低下 ⇒ 高温による乳量低下を軽減
(乳量38 kg/日・頭、未かん水比較 約110%)
(調査事例：岩手町②、洋野町⑫)



散水
チューブ

牛舎屋根への散水(写真：洋野町)

4 県内の畑地かんがい施設の整備状況（県営畑地帯総合整備事業等）



【畑地かんがい施設整備地区一覧】

(H23 年度末)

No.	事業名	地区名	関係市町村	かんがい面積	工期
①	畑地帯総合整備事業	くのへ 九戸	九戸村	174ha	S52～H10
②	〃	いっかたい 一方井	岩手町	258ha	S53～H12
③	〃	のだ 野田	野田村	101ha	S60～H11
④	〃	ふじさき 藤崎	一関市	264ha ※2	H4～(H24)
⑤	〃	ふじさき 2 期 藤崎2期	一関市	171ha ※2	H8～(H26)
⑥	〃	もりおかせいぶ 盛岡西部	盛岡市、矢巾町	307ha	H7～H18
⑦	〃	ひがしおくなかやま 東奥中山	一戸町	410ha ※2	H8～(H24)
⑧	〃	みなみおくなかやま 南奥中山	一戸町	59ha ※2	H16～(H25)
⑨	〃	おくなかやまちゅうおう 奥中山中央	一戸町	190ha ※2	H17～(H28)
⑩	〃	したざき 舌崎	二戸市	57ha	H12～H21
⑪	〃	おがみ まいさわ ゆだ 男神・米沢・湯田	二戸市	108ha ※2	H21～(H26)
⑫	県営農地開発事業	おおの 大野	洋野町	321ha	S57～H15
⑬	〃	ふだい 普代	普代村	142ha	S59～H12
⑭	国営農地開発事業※1	はちのへいげん 八戸平原	軽米町	511ha (軽米町分)	S51～H15
⑮	〃	ふじさわ 藤沢	一関市	379ha	S57～H10
計		畑地帯総合整備事業 11 地区 県営農地開発事業 2 地区 国営農地開発事業 2 地区 計 15 地区		3,452ha(計画含) (整備済 2,213ha)	

※1 八戸平原地区の畑地かんがいの末端施設は整備検討中

※2 計画面積